

令和元年度（2019年度）熊本市健康危機管理連絡会議議事録（要旨）

- 1 日時 令和元年（2019年）5月30日（木） 午後2時～
- 2 場所 ウェルパルクまもと1階会議室
- 3 出席委員（敬称略・順不同）
庁外委員 6名
宮本 大典（熊本市医師会）、渡辺 猛士（熊本市歯科医師会）、古閑 進（代理出席 熊本市薬剤師会）、西谷 陽子（熊本大学法医学講座）、奥本 克己（熊本赤十字病院）、上野 一宏（熊本県健康危機管理課）

庁内委員等 20名
長野 熊本市保健所長（議長）、近藤 環境総合センター所長、岡本 農業支援課長、竹原 中央区保健子ども課長、永本 東区保健子ども課長、井本 西区保健子ども課長、玉城 南区保健子ども課長、酒井 北区保健子ども課長、田中 救急課長、藤本 上下水道局総務課長（代理出席）、船津 高齢福祉課長（代理出席）、畠山 介護保険課長、友枝 障がい保健福祉課長（代理出席）、大林 保育幼稚園課長、田中 健康づくり推進課長、村尾 生活衛生課長、村上 動物愛護センター所長、松永 食品保健課長、伊津野 感染症対策課長、中林 医療政策課長
- 4 傍聴者 なし
- 5 報道機関
熊日新聞
- 6 議題
 - (1) 令和元年度（2019年度）健康危機管理体制について
 - (2) 平成30年度健康危機管理事業報告
 - (3) 令和元年度（2019年度）健康危機管理事業計画
 - (4) 平成30年度の衛生関係各課における健康危機管理取組み状況
 - (5) 事例報告
 - ◆緊急風しん対策事業（風しんの追加的対策）について 【感染症対策課】
 - (6) その他、質疑、意見交換
- 7 議事

議題（1）～（3）

資料：A4資料（健康危機管理とは？）、A3資料（食中毒初動経過概要）、熊本市健康危機管理要綱、資料1、資料2

事務局（医療政策課）より説明（議事略）

（議長） 議題（１）～（３）に関して、意見、質問はないか。

（意見、質問なし）

議題（４） 資料３

衛生関係各課委員（医療政策課、生活衛生課、食品保健課、感染症対策課）より説明（議事略）

（議長） 議題（４）に関して、意見、質問はないか。

（意見、質問なし）

議題（５） 資料４

感染症対策課より説明（議事略）

（議長） 議題（５）に関して、意見、質問はないか。

（委員） 前回、MR ワクチンが不足した時は、県と一緒に調整してもらったことがある。A という卸しと普段から取り引きしている医療機関には潤沢に来るが、B という卸しからは来ないということがあり、調整してもらった経緯がある。医療機関が市町村に直接相談して調整していただけるのか、卸し間でのやりとりをどこが音頭をとってするのか、風しんの局地的な流行があると全国的にいろんなところで消費されて、厚労省は総数としては足りていると言うが、、、全体的に今後どのように調整が行われるのか。

（熊本県） ワクチンについては、厚生労働省から通知が出ている。ひとつは、ワクチンの製造量の調査で、熊本県でも過去の使用量の２倍近くを供給するようになっている。調整の方は、毎週、医薬品卸し業協会から在庫報告あり。ある医療機関で不足が生じると、まず取引先のA卸しに話をさせていただき、そうするとそのA卸しから在庫がない場合には健康危機管理課に連絡をいただき県が調整する。

（委員） 我々医療機関で、ワクチンの不足や、注文した数、来ないという時は、取引先の卸しに言うといいのか？

（熊本県） 卸しの方には、医療機関の注文に応じた２週間分で予約をするというのがあり、数の調整はしない。

（委員） ありがとうございました。

議題（6） その他

（議 長） その他、全般的なところで意見、質問、情報提供などはないか。

（熊本県） マダニ感染症の情報提供あり

- ・ 本年5月に天草市で、高齢者がマダニにかまれた日本紅斑熱の事例
- ・ 県内のダニ媒介性疾患（日本紅斑熱、つつが虫病、SFTS）の発生状況や予防対策

（意見、質問なし）

（議 長） 健康危機事案はいつなん時起こるか予断を許しません。今後も関係機関の皆様には、健康危機管理連絡会議の連携を密にすることはもとより、より一層のご協力をお願いしたい。これで令和元年度熊本市健康危機管理連絡会議を閉会する。